

泉P Aスマートインターチェンジが 4月1日から本格運用を始めます

今年1月に仙台市が国土交通省へ提出していた泉P AスマートICの東北自動車道に対する連結許可申請について、本日、許可されました。

これにより、泉P AスマートICは4月1日から恒久的な施設として本格運用を始めます。

- ・対象車両 車長12メートル以下のETC搭載車（自動二輪車を含む）
- ・運用時間 24時間

1. 本格導入に関する組織

泉P AスマートICの「安全性や整備・管理・運営方法等を検討・調整・実施により、安全かつ円滑な交通を確保すること」「体制・運営の効率化等によるコスト縮減や利用者増を図ること」を目的に泉P Aスマートインターチェンジ地区協議会を設立しております。

- ・設立日 平成19年1月24日
- ・構成団体 国土交通省東北地方整備局、東日本高速道路株式会社東北支社、宮城県警察本部、宮城県警察高速道路警察隊、宮城県高速道路交通安全協会、泉地区交通安全協会、みやぎ仙台商工会、仙台商工会議所、泉区連合町内会長協議会、仙台市

2. 社会実験の状況（実験期間：平成18年4月26日から平成19年3月31日まで）

(1) 利用状況（3月11日現在）

- ・延べ利用台数 684,420台
- ・平均利用台数 1日当たり平均2,454台（2月）
- ・最大利用台数 3,110台/日（12月22日に記録）
- ・利用台数の推移（別紙参照）

(2) スマートICの利用特性

- ・入口は朝ピーク、出口は夕方ピークで利用が多い
- ・利用車の9割以上が普通車
- ・利用者の大半が日常的に利用
- ・平日は通勤や仕事に、休日はレジャー・観光、買い物、帰省などに利用

(3) スマートIC整備による効果

- ・利用者の95%以上が移動時間の短縮を実感
- ・泉IC付近の国道4号の渋滞が緩和
- ・周辺企業の輸送時間短縮、経費削減等に効果的
- ・救急車両の搬送時間が大幅に短縮

泉PAスマートIC利用台数の推移

- ・ 実験開始から10ヶ月弱で、利用台数が延べ60万台を突破(2月6日)
- ・ 2月の平均利用台数(2,454台/日)は、5月平均(1,628台/日)の1.5倍
- ・ 12月22日(金)に最大利用台数3,110台/日を記録
- ・ 実験開始後の1日あたり平均利用台数は2,139台/日

